
夏の雨【200文字】

薄桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夏の雨【200文字】

【Nコード】

N2786V

【作者名】

薄桜

【あらすじ】

暑い夏の、一時の涼しい時が終わりました。

通り雨がほんの一時の涼を呼び込んだ。

縁側から目の前に広がる山の緑を眺め、葉に弾く雨粒に耳を傾けていたものの、やがて音は止み、次第に戻ってきた蝉の鳴く声に取って代わられてしまった。

私は仕方なく団扇を扇ぐ。

早速蒸発し始めた雫に湿度は増し、鬱蒼と茂る濃い緑は更にその色を増して、息苦しいまでの蒸し暑さを感じさせる。

今日もまだまだ、暑くなりそうだ。

気分だけでも涼しく…と、風鈴を揺らし、澄んだ音色を響かせた。

（後書き）

実家で思いついたのですが、向こうはさっぱり暑くなかった（^^；
車から見た濡れた夏の緑は、何となく暑苦しい感じがしたので、ま
ぁいいやって。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2786v/>

夏の雨【200文字】

2011年11月12日06時44分発行